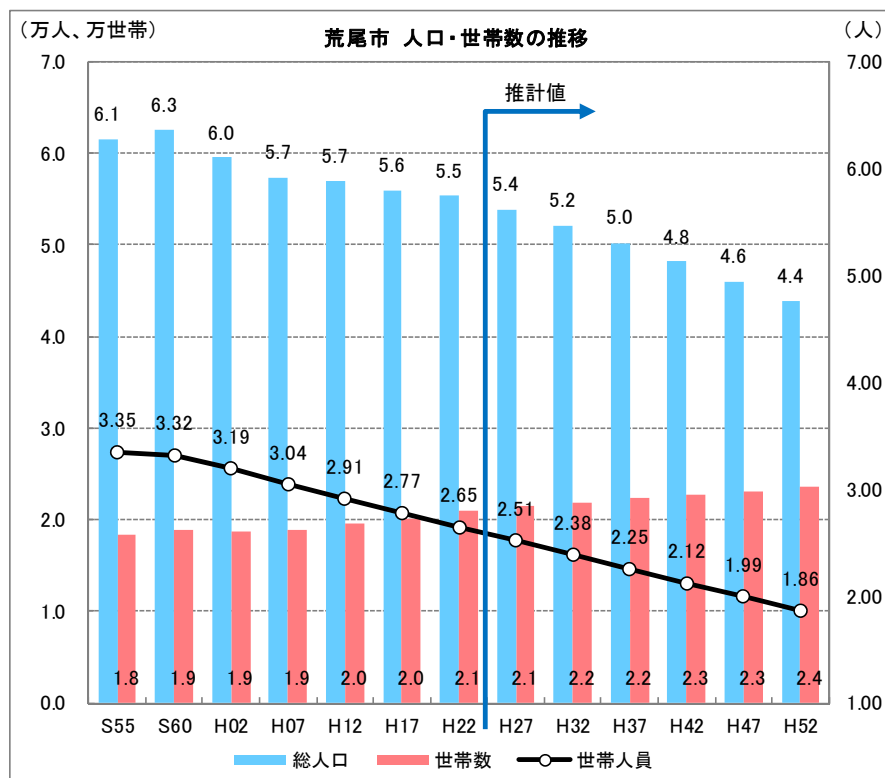


## 2. 人口

### 1) 人口・世帯数

○本市の人口は、平成7年以降、微減で推移してきましたが、平成22年から平成47年にかけて5.5万人から4.6万人へ約17%の減少が見込まれており、人口減少の加速化が予想されます。

○世帯数は、これまでと同様に増加傾向で推移する見込みであり、世帯人員の減少が予想されます。



■荒尾市 人口・世帯数の推移

	S55 (1980)	S60 (1985)	H02 (1990)	H07 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)
総人口	61,485	62,570	59,507	57,389	56,905	55,960	55,321	53,897	52,157	50,236	48,153	46,011	43,827
世帯数	18,347	18,864	18,647	18,888	19,540	20,176	20,898	21,432	21,882	22,304	22,702	23,122	23,580
世帯人員	3.35	3.32	3.19	3.04	2.91	2.77	2.65	2.51	2.38	2.25	2.12	1.99	1.86
人員数増減		-0.03	-0.13	-0.15	-0.13	-0.14	-0.13	-0.13	-0.13	-0.13	-0.13	-0.13	-0.13

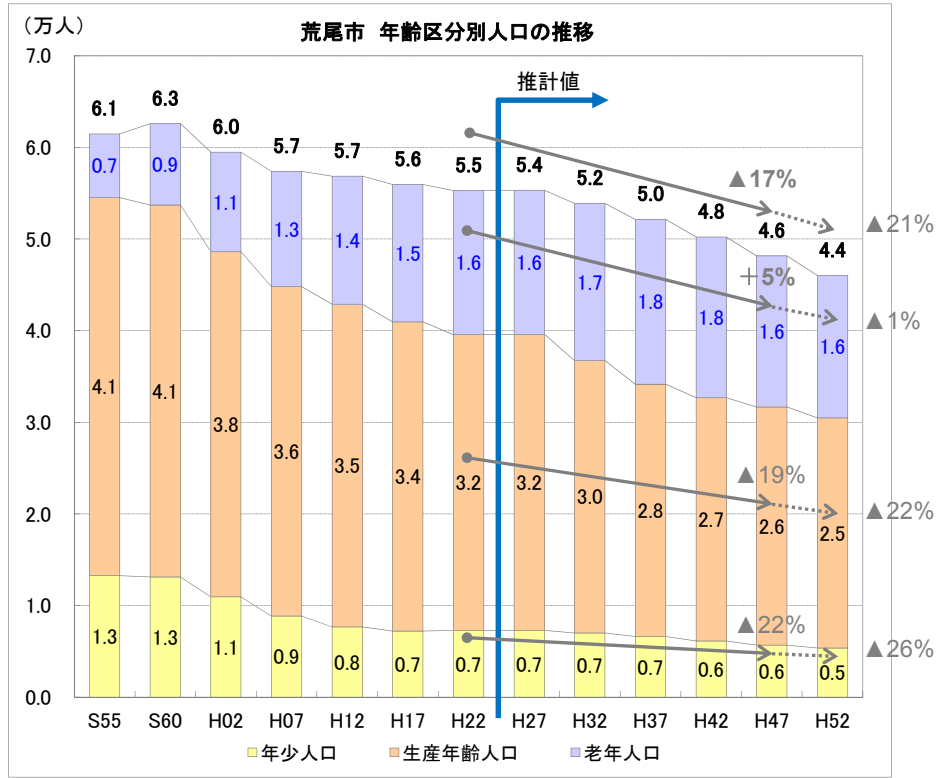
出典 [～H22]: 総務省統計局(国勢調査)

[H27～]: 国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月推計)

※平成27年国勢調査／○総人口：53,407人／○世帯数：20,910世帯

※将来世帯数の推計方法：平成7年から平成22年までの世帯人員（国勢調査ベース）の減少割合が平成27年以降も継続すると仮定し、対数近似値から将来世帯人員を計算。上記で計算した将来世帯人員数で人口問題研究所が公表している将来人口を割り、将来世帯数を算出

○人口総数のうち高齢者数（老年人口）は、平成 37 年まで増加した後に減少へ転じますが、総人口も減少しているため高齢化率は概ね 35%前後の水準で推移していく見込みとなっています。



■荒尾市 年齢区分別人口の推移

(単位: 人)

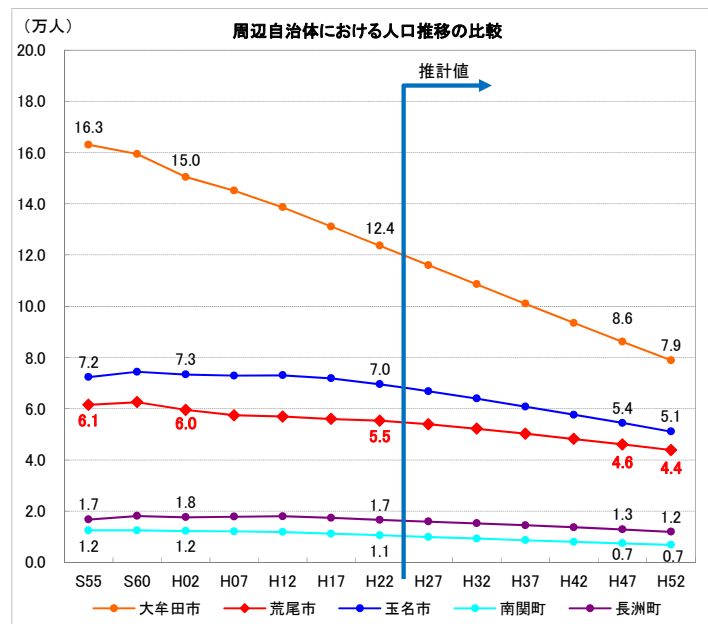
	S55 (1980)	S60 (1985)	H02 (1990)	H07 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)
総人口	61,485	62,570	59,507	57,389	56,905	55,960	55,321	53,897	52,157	50,236	48,153	46,011	43,827
年少人口	13,258	13,124	10,952	8,857	7,671	7,225	7,284	7,285	7,001	6,608	6,110	5,666	5,368
構成比	21.6%	21.0%	18.4%	15.4%	13.5%	12.9%	13.2%	13.5%	13.4%	13.2%	12.7%	12.3%	12.2%
生産年齢人口	41,253	40,596	37,654	35,931	35,205	33,735	32,277	32,302	29,737	27,537	26,583	25,997	25,118
構成比	67.1%	64.9%	63.3%	62.6%	61.9%	60.3%	58.3%	59.9%	57.0%	54.8%	55.2%	56.5%	57.3%
老年人口	6,970	8,850	10,866	12,601	13,976	14,996	15,723	15,734	17,159	18,012	17,543	16,490	15,525
構成比	11.3%	14.1%	18.3%	22.0%	24.6%	26.8%	28.4%	29.2%	32.9%	35.9%	36.4%	35.8%	35.4%

出典 [~H22]: 総務省統計局(国勢調査)

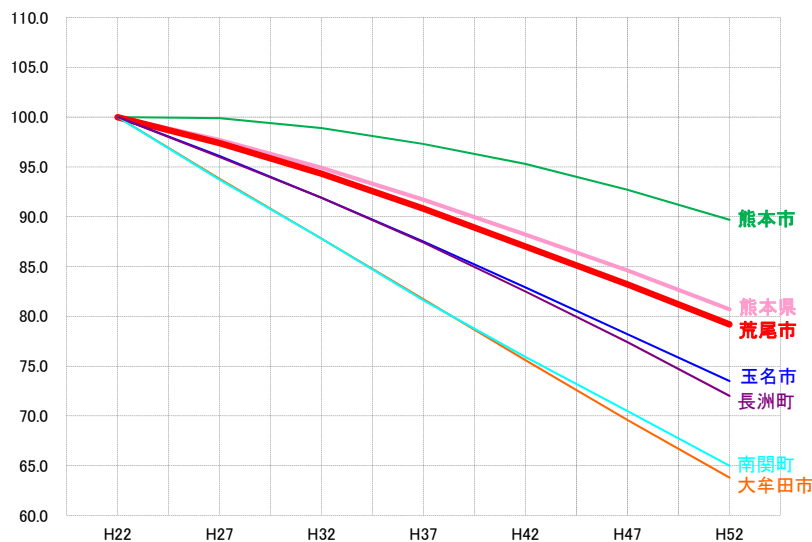
[H27~]: 国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月推計)

※平成 27 年国勢調査／○総人口 : 53, 407 人／○年少人口 : 6, 813 人／○生産年齢人口 : 29, 141 人／○老年人口 : 17, 377 人

- 本市における、過去 30 年間における総人口数のピークは、昭和 60 年の 6.3 万人でしたが、以降、周辺自治体と比較しても緩やかな減少にて推移してきました。
- 今後も、周辺自治体と比べて人口減少の幅は少ない見込みであり、概ね県平均並みの減少率で推移すると推計されています。



将来推計人口指数の推移比較 (H22を100とした指数)



■周辺自治体における人口推移の比較

(単位:人)

	S55 (1980)	S60 (1985)	H02 (1990)	H07 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)	H52 (2040)
熊本県	1,790,327	1,837,747	1,840,326	1,859,793	1,859,344	1,842,233	1,817,426	1,775,543	1,724,546	1,666,017	1,603,413	1,537,678	1,467,142
熊本市	619,236	654,348	680,765	708,097	720,816	727,978	734,474	733,560	726,499	714,761	699,621	681,187	659,133
大牟田市	163,000	159,424	150,453	145,085	138,629	131,090	123,638	115,972	108,564	100,970	93,438	86,104	78,862
荒尾市	61,485	62,570	59,507	57,389	56,905	55,960	55,321	53,897	52,157	50,236	48,153	46,011	43,827
玉名市	72,324	74,356	73,319	72,900	73,051	71,851	69,541	66,815	63,933	60,821	57,629	54,411	51,091
南関町	12,498	12,478	12,247	12,076	11,821	11,203	10,564	9,901	9,271	8,624	8,016	7,448	6,865
長洲町	16,715	18,126	17,605	17,833	17,956	17,381	16,594	15,931	15,251	14,506	13,696	12,843	11,953

出典 [～H22]: 総務省統計局(国勢調査)

[H27～]: 国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月推計)

※玉名市は、平成 17 年 10 月の岱明町、横島町、天水町との合併を反映。